

細口池公園 管理運営方針

パークマネジメントプラン

公園の特性を生かした公園経営の推進

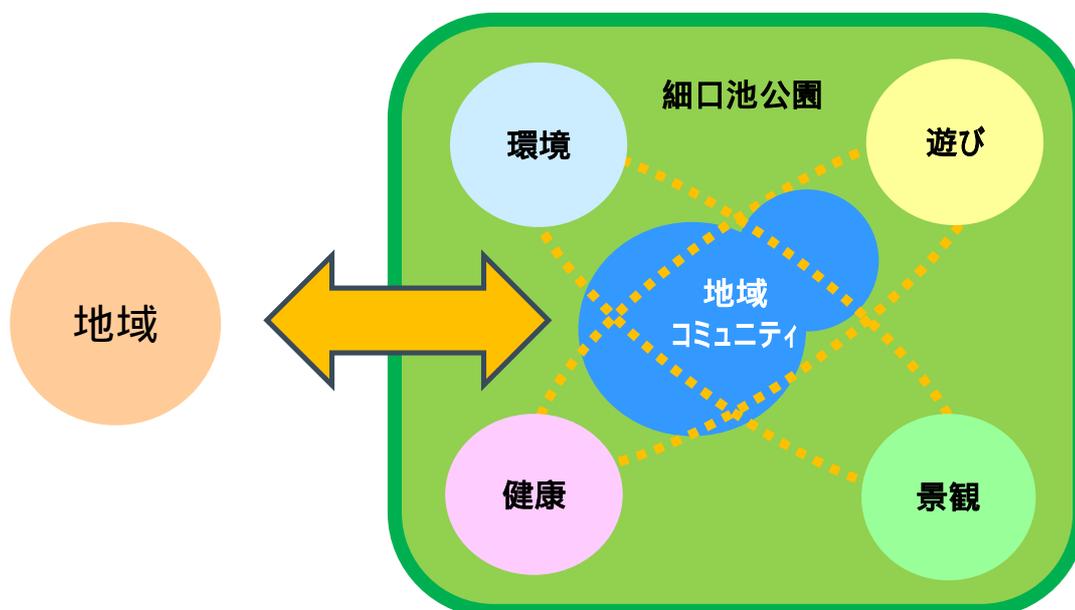
平成 29 年 3 月

名古屋市緑政土木局

細口池公園のめざす公園像

様々な人に利用され、協働・連携により
地域とともに育つシンボルの公園

- ・ 地域のシンボルとして、地域コミュニティの中心となる公園
- ・ 様々な年代の人が、遊びや健康づくりなどを通じて、色々な活用ができる公園
- ・ 地域との協働・連携で、景観・環境の改善・向上を目指す公園



目次

基本事項

1. 公園の概要

1-1. 細口池公園の概要	3
(1) 概要	3
(2) 行政計画上の位置づけおよび指定等	6
1-2. 沿革	11
1-3. 立地環境	12
(1) 自然状況	12
(2) 周辺状況	12
1-4. 整備時の方針および内容	14
(1) 整備当初の基本方針	14
1-5. 施設状況	16
(1) 施設概要	16
(2) 利用時間および料金	18
(3) 景観	18
1-6. 利用状況	19
(1) 公園の特徴	19
(2) 利用実績(テニスコート)	20
(3) 利用者の意見	21
(4) 利用・運営上の課題	23
(5) 協働	23
1-7. 公園の基本的な性格・役割	25
(1) 特長の分析	25
(2) 公園経営の視点から見た現況評価	26

2. めざすべき姿と取り組みの方針

2-1. 公園がめざすべき姿	27
(1) めざす公園像	27
(2) 細口池公園のイメージ	27
2-2. 取り組みの方針	28
(1) 公園経営の目標設定	28
(2) ゾーン別特性	29
(3) 維持管理の方針	30
(4) 景観形成の方針	30
(5) 運営管理の方針	30
(6) 連携・協働の方針	31
(7) 改修・再整備の方針	31
(8) 災害対応の方針	31

公園管理運営方針 基本事項

公園管理運営方針(パークマネジメントプラン)は、平成 24 年 6 月に公表された「公園経営基本方針」及び、平成 25 年 7 月に公表された「公園経営事業展開プラン」に基づき、今後 10 年程度を計画期間として公園の管理運営の方針等を定めるものです。

この方針では、細口池公園の性格、役割、立地条件や公園としてのあゆみ、利用者の動向などを踏まえて、めざす公園像を設定し、その実現にあたっての取り組みの方針を定めました。

管理者、利用者、事業者等は、このプランで示す各方針に即して、本公園における管理運営や利活用の促進を、それぞれの立場で行っていくものとします。

なお、本方針については、マネジメントサイクルで行う評価の結果や、周辺の都市基盤整備状況、技術動向、財政見通しなど社会経済情勢の変化等により対応が必要となった場合には、適宜見直しを行っていくものとします。

「名古屋市公園経営」とは...

従来の行政主導による維持管理中心の公園管理から脱却し、利用者志向、規制緩和等による市民・事業者の参画の拡大、多様な資金調達とサービスへの還元、経営改善手法の導入など、公園の利活用の発想により公園の経営資源を最大限に活用していく新たな管理運営の考え方です。

名古屋市においては、市民ニーズを考慮した公園経営を第一とし、公園を「市民の資産」としてとらえ、多くの人々の関わりの中で、市民全体が公園経営の成果を享受できるように「管理する資産」から「経営する資産」へと公園の管理運営のあり方を大きく変革していくものです。



市民・事業者・行政の Win-Win の関係

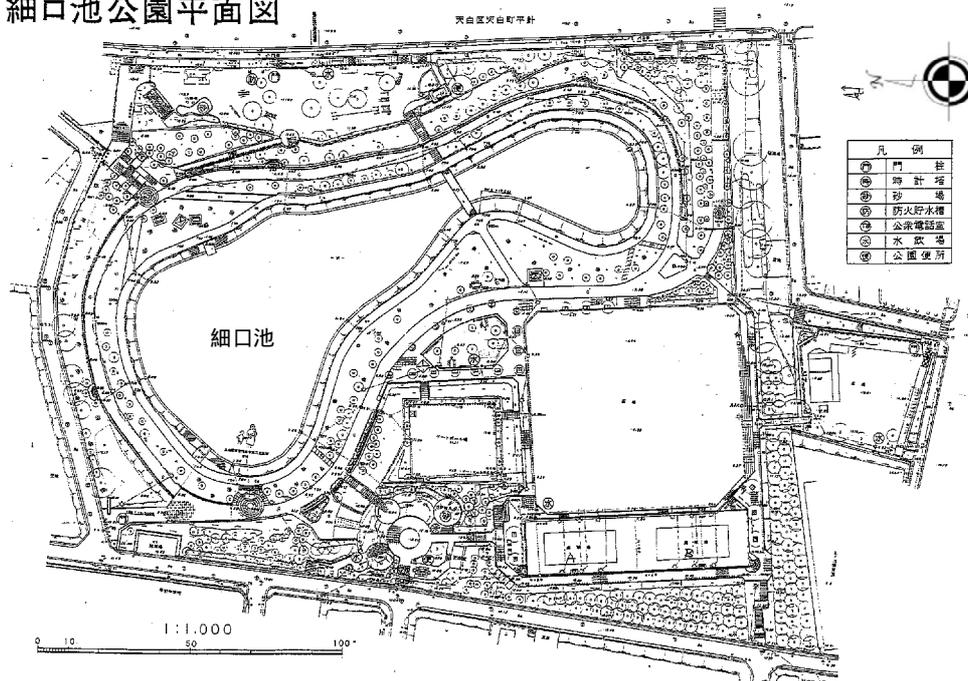
1. 公園の概要

1-1. 細口池公園の概要

(1) 概要

開園年度	昭和 61 年 (1986 年)
都市公園法による設置	昭和 61 年 11 月 1 日
公園面積	4.22ha
所在地	名古屋市天白区平針南一丁目
公園種別	地区公園
都市計画決定	年度 昭和 56 年 8 月 17 日 番号 4・3・27 号 (地区公園) 面積 3.60ha
土地取得方法	県より無償譲受、土地区画整理事業

細口池公園平面図

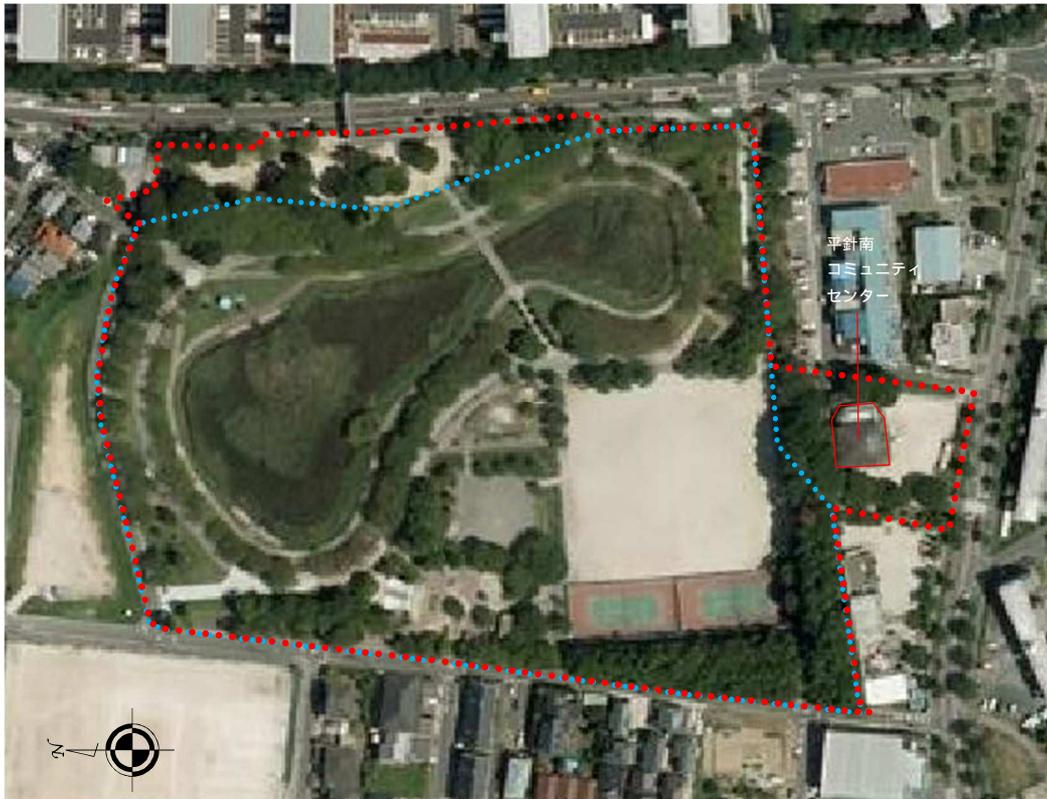


細口池公園平面図

細口池

池面積 約 36,500m² 洪水調整池 (天白川流域)

利水 C・治水 A・環境 A



細口池公園航空写真

(「名古屋市都市計画写真地図(平成22年撮影)」を加工して使用)

 = 細口池公園(都市公園区域)

 = 細口池公園(都市計画区域)

(平針南コミュニティセンターは市民経済局所管)

【位置】

細口池公園は、天白区の東部に位置し、周囲には県営平針住宅や閑静な戸建て住宅地がある地区公園である。



細口池公園位置図

【交通】

名古屋市営バス 平針 12・幹新瑞 1・八事 11・徳重 11・平針 11

「平針上ノ池」バス停下車すぐ

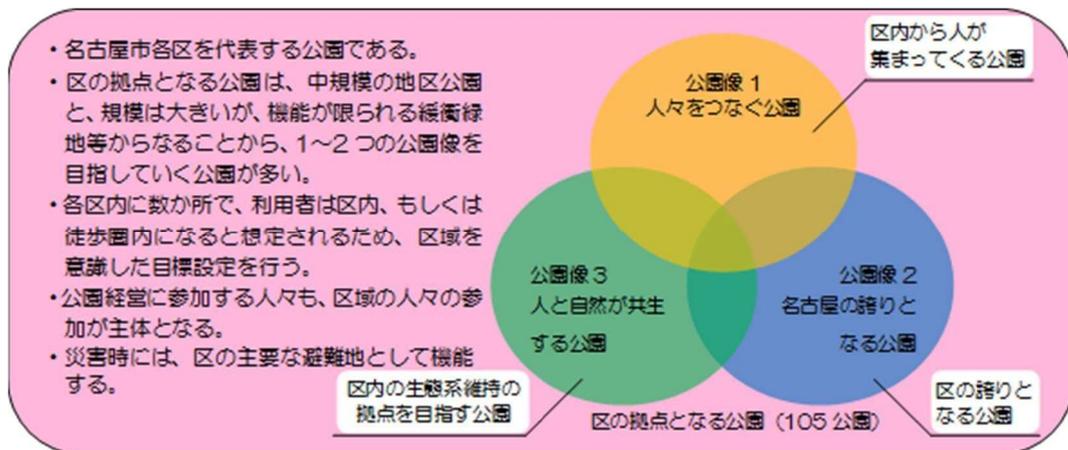
幹新瑞 1・八事 11・徳重 11・平針 11「平針中学校」バス停下車すぐ

(2)行政計画上の位置づけおよび指定等

【区の拠点となる公園】

細口池公園は、名古屋市公園経営事業展開プランの中で、公園の面積規模や公園利用者の広がり considering 「広域の拠点となる公園」「区の拠点となる公園」「地域の身近な公園」の3つに分類された公園体系のうち、「区の拠点となる公園」として位置づけられている。

「区の拠点となる公園」とは、各区でおおよそ数か所ある地区公園及び河川敷緑地など（緩衝緑地、広場公園、都市緑地、緑道を含む）である。



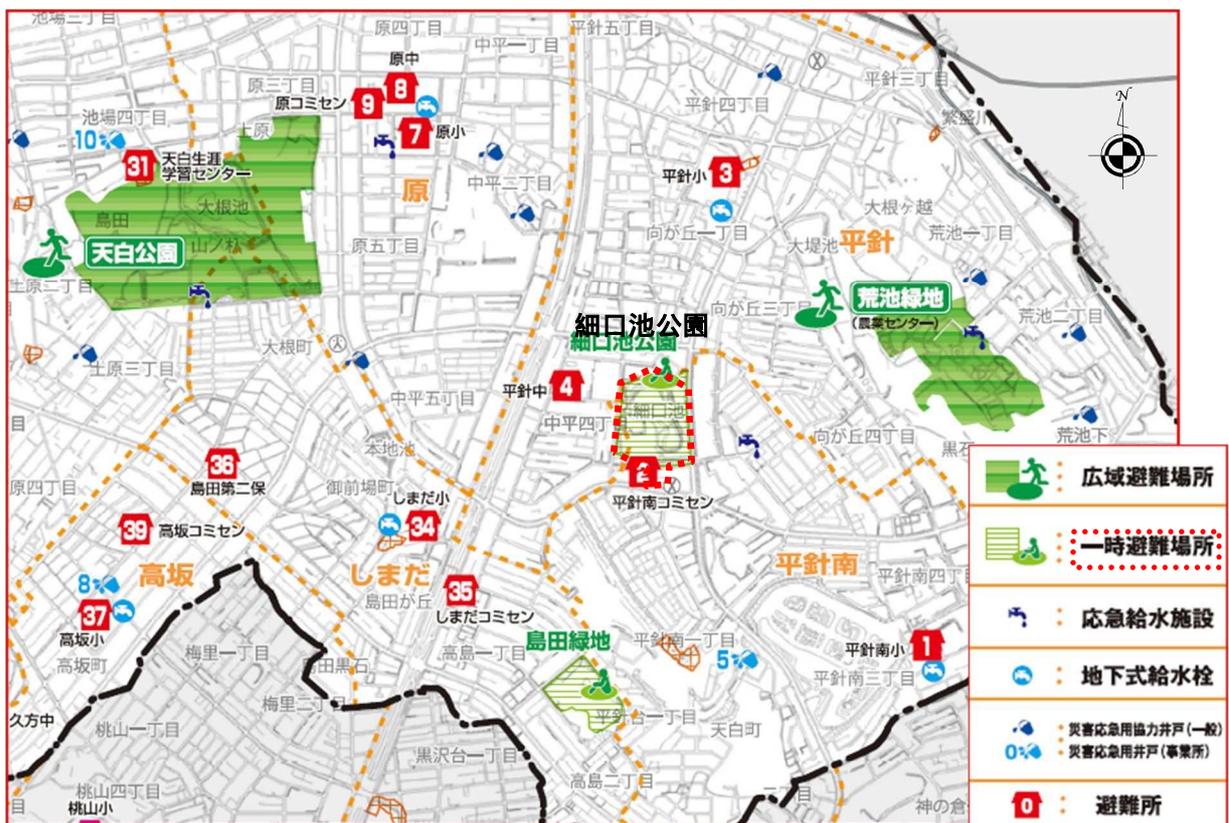
名古屋市公園経営事業展開プラン（H25.7）

【一時避難場所】

細口池公園は、名古屋市地域防災計画の中で、一時避難場所に指定されている。

一時避難場所とは、広域避難場所へ避難するまでの中継地として、避難者が一時的に集合して様子を見る場所をいい、地域の生活圈や河川等の地形条件により、避難計画上、避難時間のかかるおそれのある地域において、概ね 10,000 m²以上の公園・緑地等の公共空地が指定されている。

また、公園内にある平針南コミュニティセンターや、隣接する平針中学校が避難所として指定されており、地域の重要な避難場所となっている。



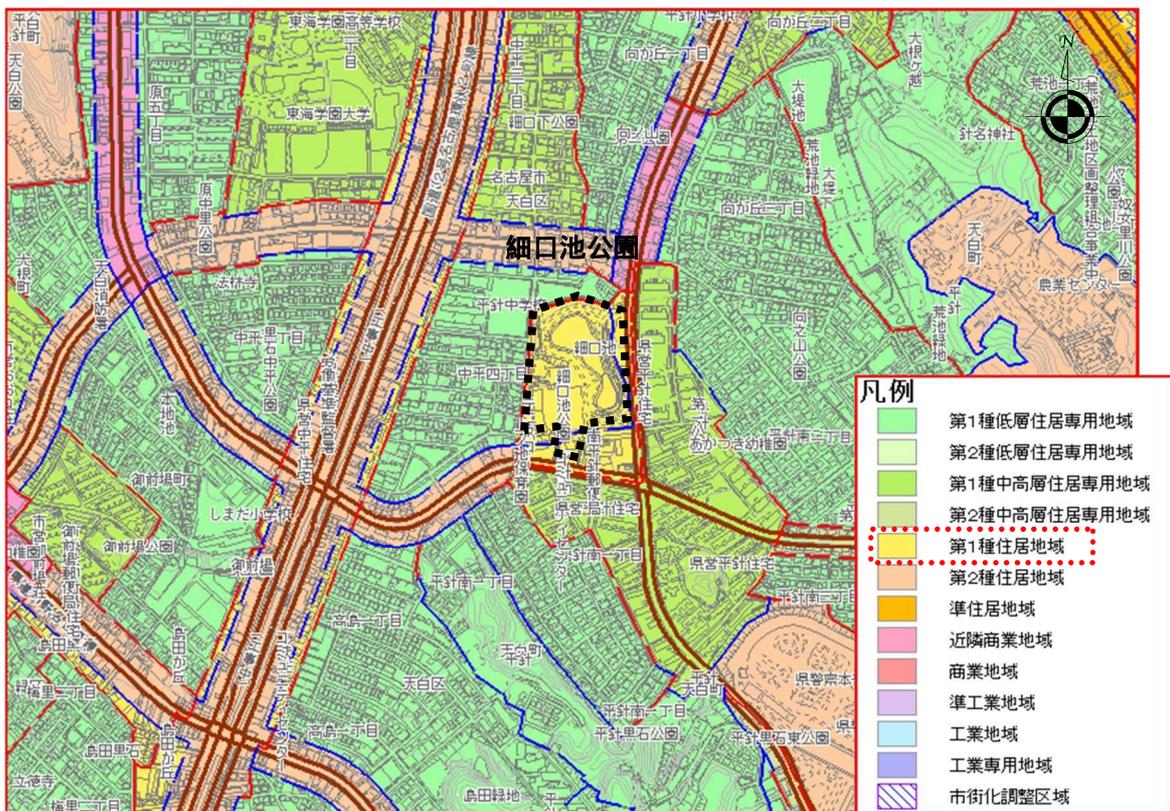
避難所マップ

(「あなたの街の地震ハザードマップ 天白区(平成26年3月発行)」を加工して使用)

【用途地域】

細口池公園は、都市計画法による第1種住居地域内に位置し、北側及び西側は第1種低層住居専用地域、東側及び南側は第1種中高層住居専用地域となっている。

そのため、公園周辺の低層住宅や集合住宅に住む地域住民の利用が多く、利用者の年齢層も幅広い。



用途地域図

(「名古屋市都市計画基本図(平成22年)」を加工して使用)

【人口集中地区】

細口池公園は、人口集中地区に指定されている。

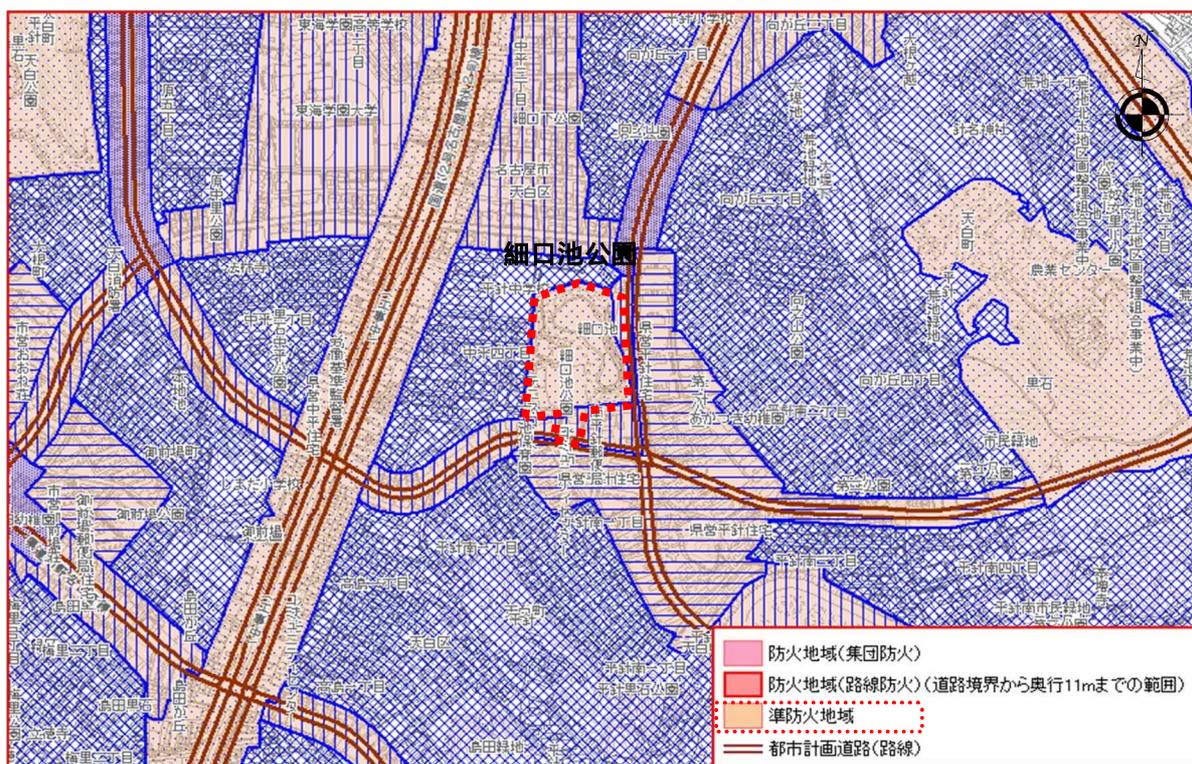
人口集中地区とは、人口密度が4,000人/km²以上の基本単位区が、互いに隣接して人口が5,000人以上となる地区のことである。

【準防火地域】

細口池公園は、都市計画法により準防火地域に指定されている。

準防火地域とは、市街地における火災の危険を防除するため定める地域として、建築基準法および同法施行令において建築物の耐火機能など具体的な規制が定められた地域である。

それにより、今後整備等で公園内に建築物を建てる場合は、基準に従い耐火性のある建築物を建てなければならない。



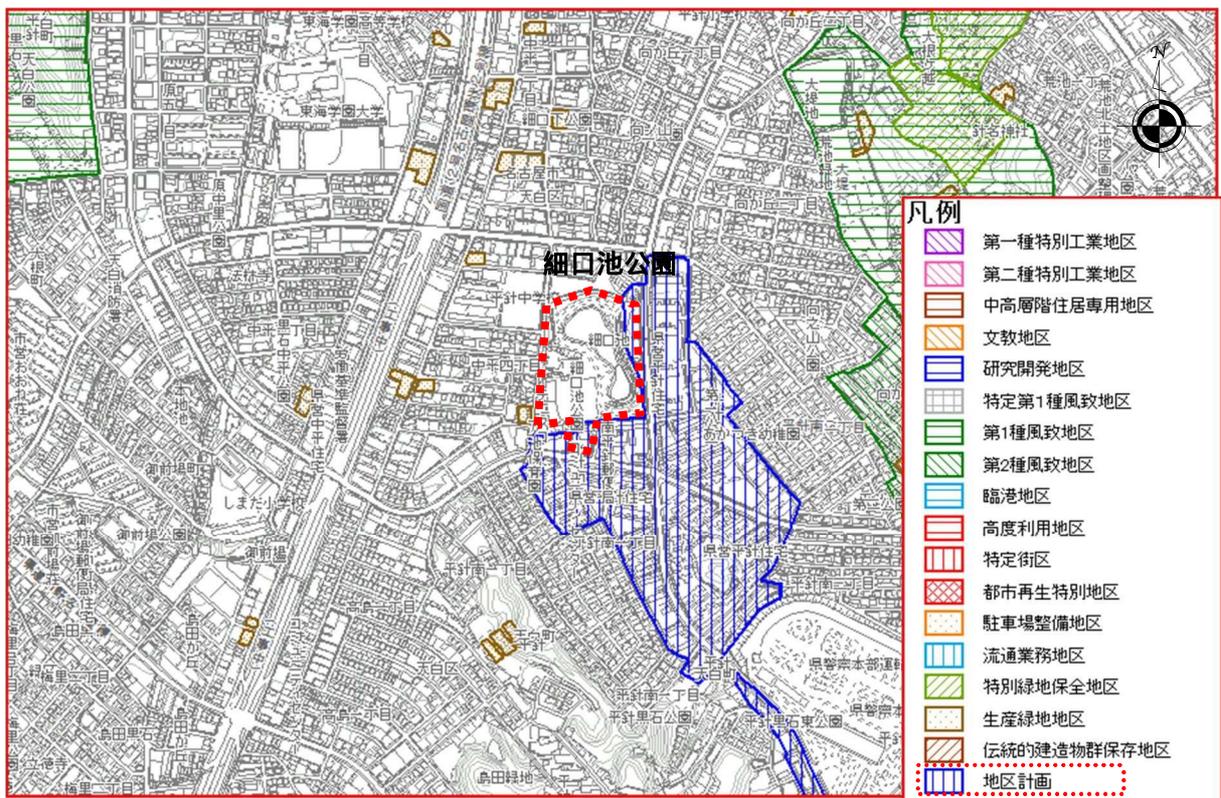
防火地域図

(「名古屋市都市計画基本図(平成22年)」を加工して使用)

[地区計画]

細口池公園は、公園東側の一部が平針住宅地区計画の範囲に入っている。

地区計画は、住宅団地の建て替えに併せ、合理的かつ健全な土地利用を図り、周辺と調和のとれた緑豊かで良好な都市居住環境等の形成を図るため、区域の整備・開発及び保全の方針、地区整備計画が定められている。



地区計画図

(「名古屋市都市計画基本図(平成22年)」を加工して使用)

1-2.沿革

- 昭和 54 年（1979 年）4 月 5 日 愛知県から無償譲受(0.57ha)
- 昭和 54 年（1979 年）～昭和 57 年（1982 年） 公園築造工事・整備工事
- 昭和 56 年（1981 年）8 月 17 日 都市計画決定(計画面積 3.60ha)
- 昭和 57 年（1982 年）5 月 18 日 細口池公園第二愛護会が設立
- 昭和 60 年（1985 年）2 月 12 日 平針中央土地区画整理組合より管理引継(3.65ha)
- 昭和 60 年（1985 年）～平成 2 年（1990 年） 公園築造工事・整備工事
- 昭和 61 年（1986 年）10 月 21 日 都市公園設置(1.12ha)
- 平成 3 年（1991 年）4 月 1 日 都市公園の区域変更(4.22ha)
- 平成 10 年（1998 年）3 月 27 日 細口池公園第三愛護会が設立
- 平成 20 年（2008 年）3 月 31 日 公園の所在地の名称変更
(天白区天白町大字平針字黒石・字細口下 天白区
平針南 1 丁目)

1-3.立地環境

(1)自然状況

細口池公園は西方向に天白公園、東方向に荒池緑地、南方向に平針黒石市民緑地や島田緑地、熊野特別緑地保全地区などがあり、東部丘陵の緑地に囲まれた環境にある公園である。

公園内にある細口池はかつては良質の葦原がありツバメがたくさん観られたとのことだが、現在はヒメガマが覆うようになり、ツバメは少なくなった。しかし、平成 24 年度地域委員会の打合せを経て地域住民を中心とした自然活動団体が発足し、環境局生物多様性センターと連携して環境改善に取り組んでいる。

【細口池公園で見られる主な野鳥】

通年...アオサギ、カイツブリ、カラス、カルガモ、カワウ、カワセミ、カワラヒワ、コガモ、コサギ、スズメ、セグロセキレイ、ダイサギ、チュウサギ、ドバト、ハクセキレイ、バン、ムクドリ など

春～夏...オオヨシキリ、ツバメなど

秋～冬...オオジュリンなど

【細口池公園で見られる主な昆虫】

アキアカネ、アジイトトンボ、ウスバキトンボ、オオシオカラトンボ、ギンヤンマ、クロイトトンボ、コシアキトンボ、シオカラトンボ、ショウジョウトンボ、チョウトンボ、ヒメミズカマキリ

(2)周辺状況

細口池公園は、天白区の東側にあり、一般国道 302 号と荒池緑地の中間に位置する。公園内には平針南コミュニティセンターが併設されているほか、公園周囲には県営平針住宅、平針団地診療所や平針南交番、名古屋南平針郵便局などがあり、地域住民の利用頻度が高い施設が集中している。また、西側に平針中学校があるほか、名古屋市立上ノ池保育園、私立名古屋あかつき幼稚園、平針学童保育クラブなどの教育施設が公園から徒歩 10 分圏内にあり、子供の利用も多い公園である。

交通のアクセスは、公園東側に地下鉄鶴舞線「平針」駅からの市営バスが通ってる黒石線・白山黒石線や、地下鉄鶴舞線「原」駅からの市営バスが通っている小田赤池線・小田猿投線があり、公園東側には市営バス「平針中学校」バス停、公園南側に市営バス「平針上ノ池」バス停などがある。



周辺状況図



バス停位置図面

「平針中学校」
「平針上ノ池」

1-4. 整備時の方針および内容

(1) 整備当初の基本方針

【整備テーマ】

細口池公園は、昭和 54 年に愛知県から無償譲受された土地と、昭和 60 年に土地区画整理組合より名古屋市が管理引継した土地を併せて、整備された公園である。

公園を整備するにあたっては、「スポーツ振興」、「特色のある公園づくり（「花の名所公園」）」というテーマに基づいて整備された。

「スポーツ振興」ではテニスコートや池周辺の周遊園路（ランニングコース）を整備し、「花の名所公園」ではスイセンや池周辺のサクラを植栽し、整備された。

このほか、「シイ・カシ・タブ」などの樹種に関する植生思想（照葉樹林文化論）が当時の造園にも影響を与えたこともあり、公園西側にもシイ類・カシ類・タブ類が植栽された。

公園のシンボルでもあるひょうたん型の洪水調整池も、公園整備の際、現在の線形・形状が確立された。

《名古屋市スポーツ振興計画（レインボープラン）》（昭和 57 年 10 月策定）

名古屋市は、昭和 57 年 10 月に「名古屋市スポーツ振興計画（レインボープラン）」を策定し、スポーツ施設の整備や市民スポーツの振興を図ってきた。特にスポーツ施設については、総合体育館や瑞穂運動場などの拠点施設をはじめ、地域における身近なスポーツ活動の場であるスポーツセンターや公園などの整備を順次進めてきた。

《特色のある公園づくり》（昭和 61 年度～）

名古屋市は、昭和 61 年度より「特色のある公園づくり」を公園整備の一つのテーマとして取り上げ、事業化を図った。「特色のある公園づくり」は、大きく変化しつつある時代の要請に応えるための施策である。

特色のある公園整備事業の基本方針

都市施設としての公園本来の特性を十分発揮させるとともに、市民ニーズを踏まえ、当該公園の立地条件、ポテンシャルを十分生かした、利用者の視点に立った公園づくりを行うこととした。

特色のある公園整備事業の具体的内容

「特色のある公園整備事業」は、「ユニーク公園」「みんなのアイデア公園」「花の名所公園()」などの取り組みを行っており、細口池公園は「花の名所公園」として平成元年に整備された。(その後、周辺樹木の成長等によりスイセンが減少したため、現在は花の名所公園としての位置づけではない。)

()「花の名所公園」

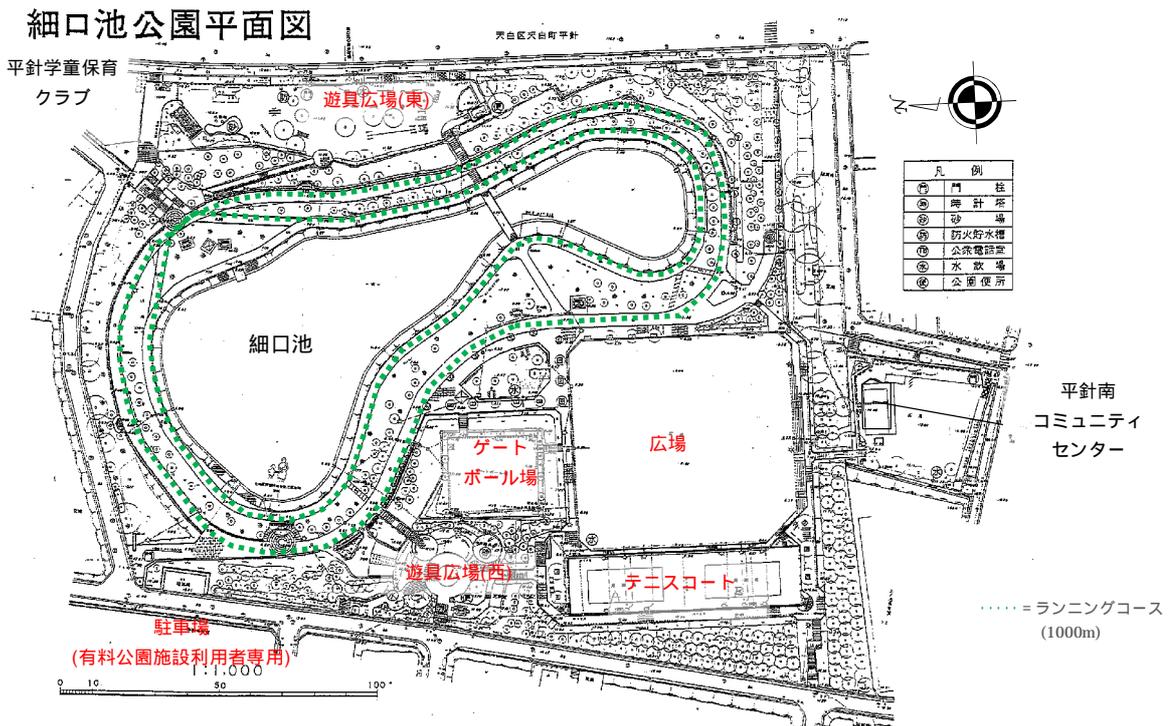
花の名所は、花と場のもつ魅力が一体となって形成される。花の名所を公園につくることにより、公園のイメージが鮮明になり、その公園を特色づけることができる。四季の花を取り入れ、全市に名所をつくることで、いつでもどこかで花が楽しめるようにする。

1-5.施設状況

(1)施設概要

公園は、中央にひょうたん型の洪水調整池「細口池」があり様々な野鳥を観察することができる。園内には西園・東園にそれぞれ遊具のあるエリアがあるほか、2面のテニスコートやランニングコース、園内にはゲートボール場や大きな土の広場もあり地域住民の健康づくりの場として親しまれている。また、池の周辺にサクラが植えられており、サクラの綺麗な公園として有名である。

なお、細口池は、緑政土木局河川計画課と緑地維持課が、それぞれ隔年でため池の水質調査を行っており、緑地維持課が隔年で土壌調査を行っている。(河川計画課：隔年で年4回水質調査、緑地維持課：隔年で年2回水質調査+年1回土壌調査を実施)



細口池公園平面図

【施設概要】

テニスコート

公園の南西に位置し、全天候型（人工芝）で2面（約 1,400 m²）のコートを設置しており、更衣室が併設されている。



テニスコート

周遊園路(ランニングコース)

細口池周囲に 1000mのコースがあり、近隣の中学校がランニングで使用したり、地域住民がウォーキングなどに利用している。

広場

テニスコートの東側に広場（土面 約 4700 m²）があり、ラジオ体操やグラウンドゴルフ大会など地域のイベント会場として利用されている。



広場

遊具広場

公園東側と西側それぞれに 1 か所ずつあり、近隣に住む子供や、幼稚園・保育園の子供たちに人気である。特に西側の遊具広場にあるコンクリートスライダ - （ウォールスライダー）は人気である。



コンクリートスライダ - （ウォールスライダー）

その他

寄附物件

- ・彫刻「黎明」(H元.3 寄附 細口池西側)

(2) 利用時間および料金

【テニスコート】2面(全天候・更衣室有り) 1,400 m²

利用期間	利用時間		使用料
	利用区分	時間帯	
通年	昼間	8:30 ~ 16:30	1,300 円
	半日	午前 8:30 ~ 12:00 午後 13:00 ~ 16:30	700 円
	ナイター利用期間 (3/1 ~ 11/30)	夜間	17:00 ~ 20:30

夜間照明のための電気料金は別途必要

【駐車場】

駐車場名	面積	収容台数	供用期間	供用時間	料金
細口池公園 駐車場	約 20 m ²	普通 5 台	通年	-	無料(ただし有料施設 利用者専用)

(3) 景観

【公園内の優れた景観】

- ・池を囲うようにサクラが植えられており、公園利用者には好評である。

彫刻

作品名	作家名	設置年	設置場所	備考
黎明	細野稔人	H元.3	細口池西側	寄附



「黎明」

1-6.利用状況

(1)公園の特徴

細口池公園の大きな特徴として、公園南側に平針南学区のコミュニティセンターがあり、周辺でも大きな公園であることから、地域住民の積極的な利用・関与がある「地域の公園」であることがあげられる。

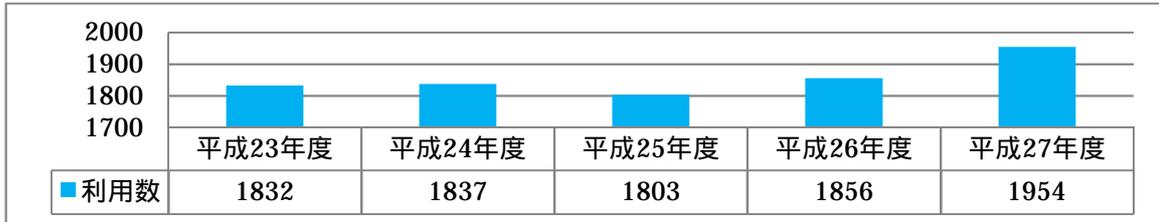
【公園で行われている地域住民主催の活動】

- ・ラジオ体操 「身近なところでラジオ体操」毎日 6 時 30 分～
「夏休みラジオ体操」夏休み（10 日間）6 時 30 分～
（ともに地元自治会が開催）
- ・公園愛護会 2 団体（学童保育クラブ、老人会で構成）
- ・グラウンドゴルフ大会 地元自治会・老人会が主催
- ・「細口池生きもの復活作戦」
地域委員会にて発足した地域住民による活動承認団体（細口池生きもの復活クラブ）が、細口池のつばめの埒（ねぐら）復活と生物多様性保全を目的に活動を行っている。

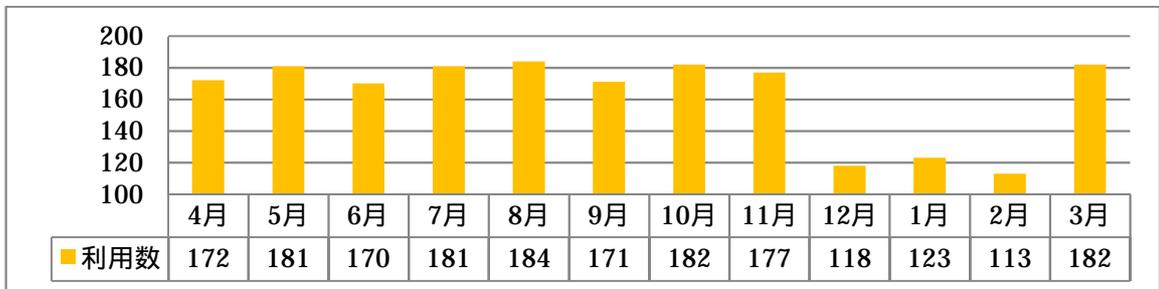
またこのほかに、10 月に公園広場で地元福祉施設の運動会が行われ、地域住民も参加・協力している。

(2) 利用実績(テニスコート)

利用数(平成23年度~27年度)



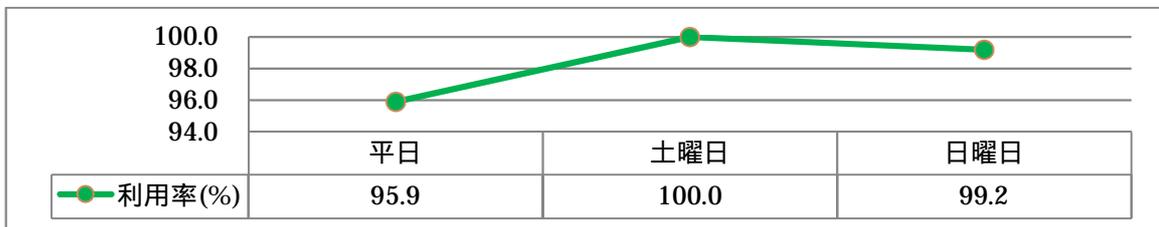
月別利用数(平成27年度)



月別利用率(平成27年度)



曜日別利用率(平成27年度)



(3)利用者の意見

【アンケート調査】

公園に関する意見・要望を、平成 28 年 11 月に現地にてアンケート及び聞き取り調査を行った。利用者の傾向と公園利用者の意見の聞き取り結果は、以下のとおりである。

利用者の傾向

- ・ 「公園近隣住民」の利用率が 7 割強、公園近隣以外の天白区内在住の利用者と併せると、全体の 8 割強を占め、地域の公園という位置づけを表す結果となった。
- ・ 「ほぼ毎日」又は「週に数回」の利用が多い。
- ・ 公園を選んだ理由・利用の目的としては、「緑が多い」「近い」「静かで落ち着ける」「広い」など公園の特長を反映する内容が多かった。またテニスコートも設置されていることから「スポーツ施設（テニスコート）がある」ことが目的と回答する利用者も多かった。このほか「安全」を公園を選んだ理由とする利用者も比較的多かった。

意見・要望等

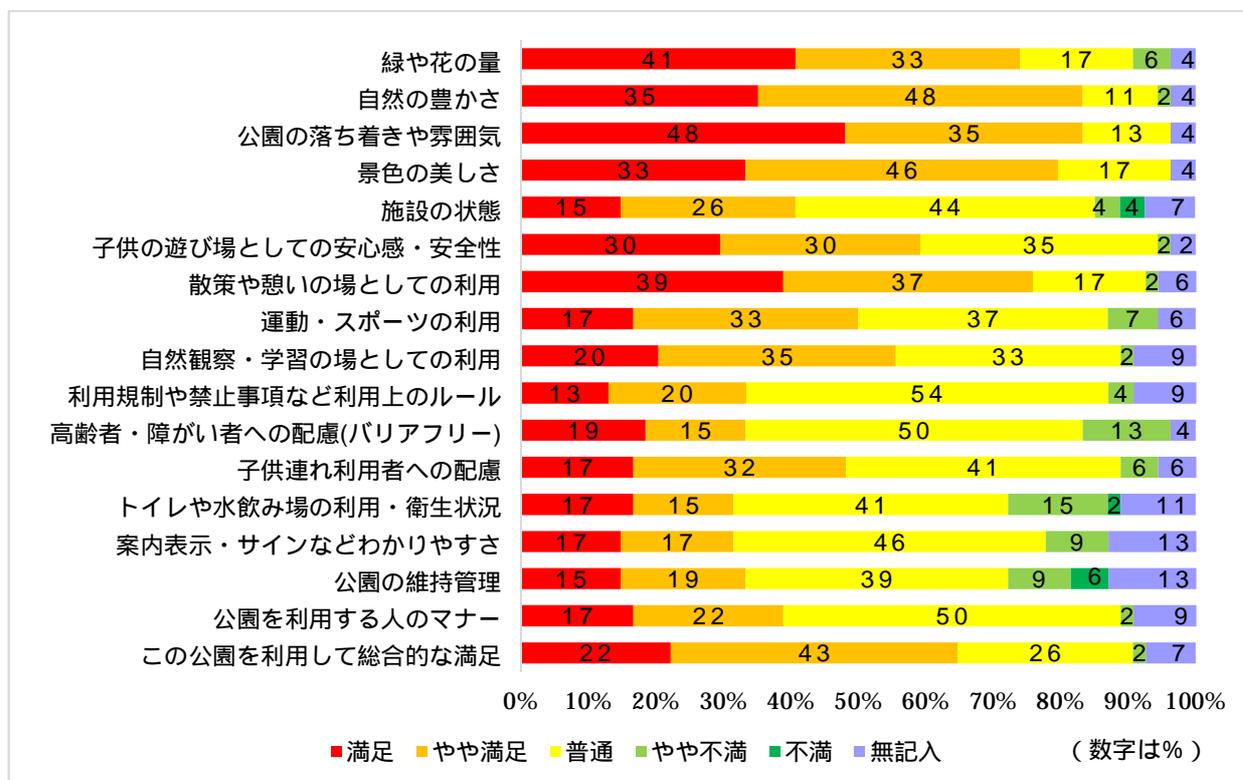
- ・ 健康器具系施設を設置してほしい。
- ・ 駐車場が欲しい。
- ・ 安全なアスレチックが欲しい。
- ・ もう少し花があったらうれしい。
- ・ 池の清掃・浚渫・整備をしてほしい。
- ・ ガマを取って、細口池の環境を昔の状態に戻してほしい。
- ・ トイレにトイレトペーパーがあると良い。
- ・ トイレに、乳幼児のオムツ替えができる広さ、機能（オムツ台等）が欲しい。
- ・ 子供でもトイレを使いやすくしてほしい。
- ・ 細口池の歴史や公園づくりのコンセプト、公園の生き物などの情報をパネルにして公園中央部に掲示する掲示板が欲しい。
- ・ トイレや水飲み場をもっと綺麗にしてほしい。
- ・ 雨の後、ぬかるんでいる箇所が多いので改善してほしい。
- ・ 屋根付の休憩できる場所が欲しい。
- ・ 桜の下枝・ヒコバエを取ってほしい。
- ・ もっと公園の維持管理を大胆にやってほしい。（枯枝等の伐採）
- ・ 公園西側と南側の樹林地の区域が密生しているので間引きが必要。
- ・ 一時期よりも池が綺麗になった。
- ・ 桜が綺麗。桜の季節が大好きなので良く来る。
- ・ 以前はスイセンがきれいだった。スイセンが減った。
- ・ 花の名前を表示してほしい。

- ・ スイレンが無くなった。
- ・ 犬の散歩の人が多い。
- ・ 犬フンの後片付けをしない人がいる。
- ・ 車イスで来られるのが良い。
- ・ 公園灯がもう1～2灯あると夕方も安心。
- ・ 学童があり子供たちとふれあえる。
- ・ 自分が小さいころから遊んでいて、広くて楽しい公園だと思う。
- ・ もっと幼児等の子供の活動ができるようにしてほしい。

公園に関する評価

アンケート回答者には、公園に関する事項17項目を評価してもらった。

- ・ 「緑や花の量」「公園の落ち着きや雰囲気」「散策や憩いの場としての利用」に関する項目で「満足」と評価した人が多かった。
- ・ 「高齢者・障がい者への配慮(バリアフリー)」「トイレや水飲み場の利用・衛生状況」「案内表示・サインなどわかりやすさ」「公園の維持管理」に関しての「やや不満」の評価がほかの評価事項よりも多く、「公園の維持管理」「施設の状態」「トイレや水飲み場の利用・衛生状況」に関して「不満」と思っている人もいることが分かった。



細口池公園に望まれる公園像

公園利用者が水広公園に今後望む公園像は、現在の細口池公園の特長及び地域の公園としてのイメージが多かった。

- ・ 運動、スポーツ、健康づくりの場としての公園
- ・ 安らぎやくつろぎの空間としての公園
- ・ 自然や生き物とのふれあいの場としての公園
- ・ 子供の遊び空間としての公園
- ・ いろいろな世代の人や地域の人との交流の場としての公園
- ・ 多様な生物の生息の場としての公園

(4)利用・運営上の課題

- ・ 有料施設（テニスコート）専用駐車場の不足。
- ・ 細口池の環境改善。

(5)協働

【公園愛護会】

- ・ 地元老人会で構成されている公園愛護会と、公園に隣接する学童保育所の関係者で構成されている公園愛護会が、それぞれ園内で清掃、除草等の活動をしている。

活動状況

- ・ 月に1回の清掃活動

公園愛護会の意見

公園愛護会に、公園に関するアンケート調査を行った。
アンケート結果は、以下のとおりである。

1) 細口池公園で活動していて感じること

- ・ 年々公園のゴミが少なくなっている。
- ・ 犬フンの放置が多く困っている。
- ・ 以前は、スイセンが多く植えてあったが、現在は少ないので寂しい。
- ・ 池の中に雑草が多いので困る。

2) 細口池公園に対する愛護会の評価

- ・ 「子供の遊び場としての安心感・安全性」「散策や憩いの場としての利用」「自然観察・学習の場としての利用」「公園の維持管理」についてやや満足していると評価している。
- ・ やや不満・不満と感じる評価がほとんど無かった。

3) 細口池公園の魅力

- ・ 静かな公園であり、毎日散歩に歩いている高齢者が多い。

4) 細口池公園に求めること

- ・ 子供たちが写真・虫取りに来ているので、緑が増えると良い。
- ・ 池の水が綺麗になると良い。

【その他の団体の活動】

- ・ 地元学区を母体とする活動承認団体（細口池生きもの復活クラブ）が、池の環境改善に関する作業を行っている。

活動承認団体の意見

活動承認団体にも、公園に関するアンケート調査を行った。
アンケート結果は、以下のとおりである。

1) 細口池公園に関する評価

- ・ 「緑や花の量」「自然の豊かさ」「景色の美しさ」「自然観察・学習の場としての利用」「散策や憩いの場としての利用」などで「やや満足」と評価する人が多かった。その反面「案内表示・サインなどわかりやすさ」「公園の維持管理」「公園を利用する人のマナー」で「やや不満」と評価する人が一定数いた。

2) 細口池公園に求めること

- ・ 細口池の環境改善や生物の多様性保全を目的に活動している団体ということもあり、池の環境改善（ガマの除去・浚渫等）を求める内容や意見が多かった。

また団体の会員のほとんどが地域住民であることから、公園内の公園利用者のマナーの改善を求める意見もあった。

1-7.公園の基本的な性格・役割

(1)特長の分析

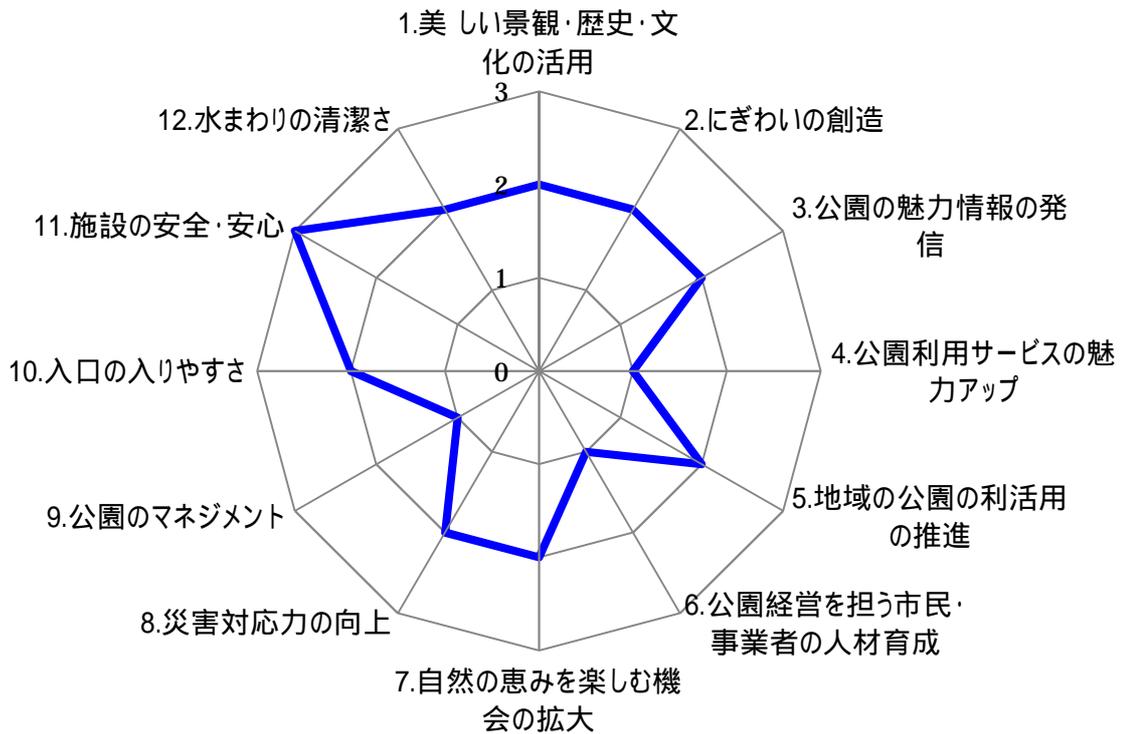
分析ポイント

歴史・文化	愛知県から無償譲受された土地と、土地区画整理組合より名古屋市が管理引継した土地を併せて、整備された。
景観	細口池を中心に自然を感じさせる景観がある。 細口池周辺に、サクラ等の季節を感じさせる植栽がされている。
にぎわい	ラジオ体操など、地域主催のイベントの会場としての利用がある。
地域の庭	地元学区などが、コミュニティ活動の場として積極的に利用している。
自然の恵み	公園内は、年月を経て樹木が成長しており、緑が豊かである。 細口池の環境改善が地域との協働で進められており、生物多様性保全の取り組みが行われている。
遊具	コンクリートスライダ - (ウォールスライダー) など、遊具はよく利用されている。
スポーツ施設	スポーツ施設(テニスコート・ミニスポーツ広場など)はよく利用されている。 また、池を周遊するランニングコースでウォーキングする人が多い。
災害対応力	一時避難場所に指定されている。
活動団体	愛護会などの活動が、積極的に行われている。 地元学区が中心となって組織された活動承認団体の活動も、活発に行われている。
民間活力導入状況	自動販売機等の設置は無い。

(2) 公園経営の視点から見た現況評価

公園経営の現況評価	
評価基準	
評価0	-
評価1	部分的に不足している
評価2	標準的なレベルに達している
評価3	積極的に取り組んでいる、高い評価を得ている

公園の現況評価



- ・ サクラなどの季節の花や、細口池など多数のビューポイントを有する。
- ・ 日常的にも早朝の体操・ジョギングなどで、多くの地域の人が利用している。
- ・ スポーツ施設や遊具はよく利用されている。
- ・ 愛護会や活動承認団体など、地域を中心としたボランティア活動が積極的に行われている。

2.めざすべき姿と取り組みの方針

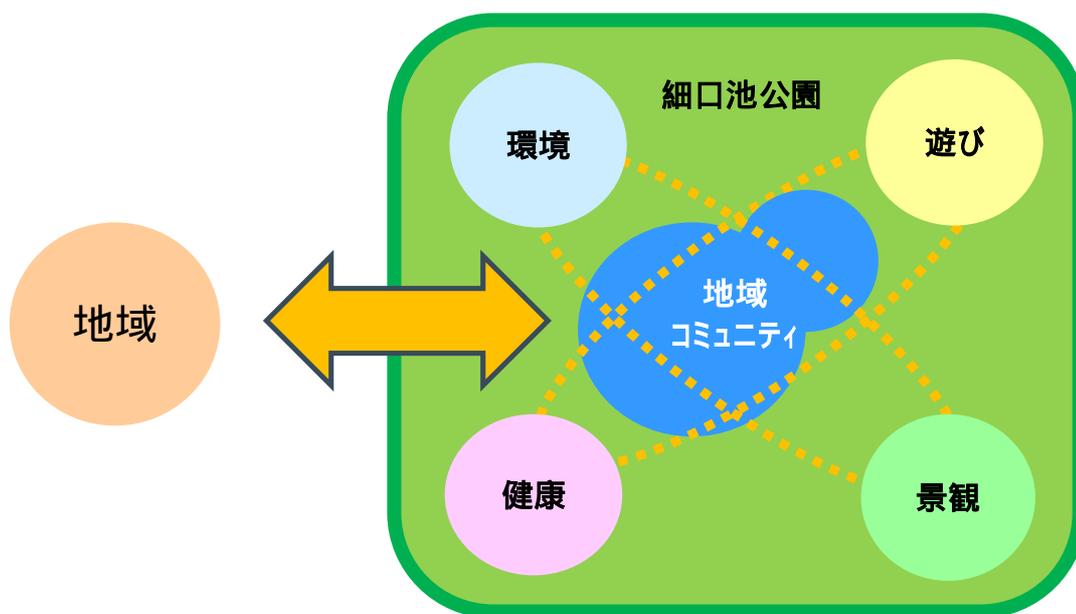
2-1.公園がめざすべき姿

(1)めざす公園像

様々な人に利用され、協働・連携により
地域とともに育つシンボルの公園

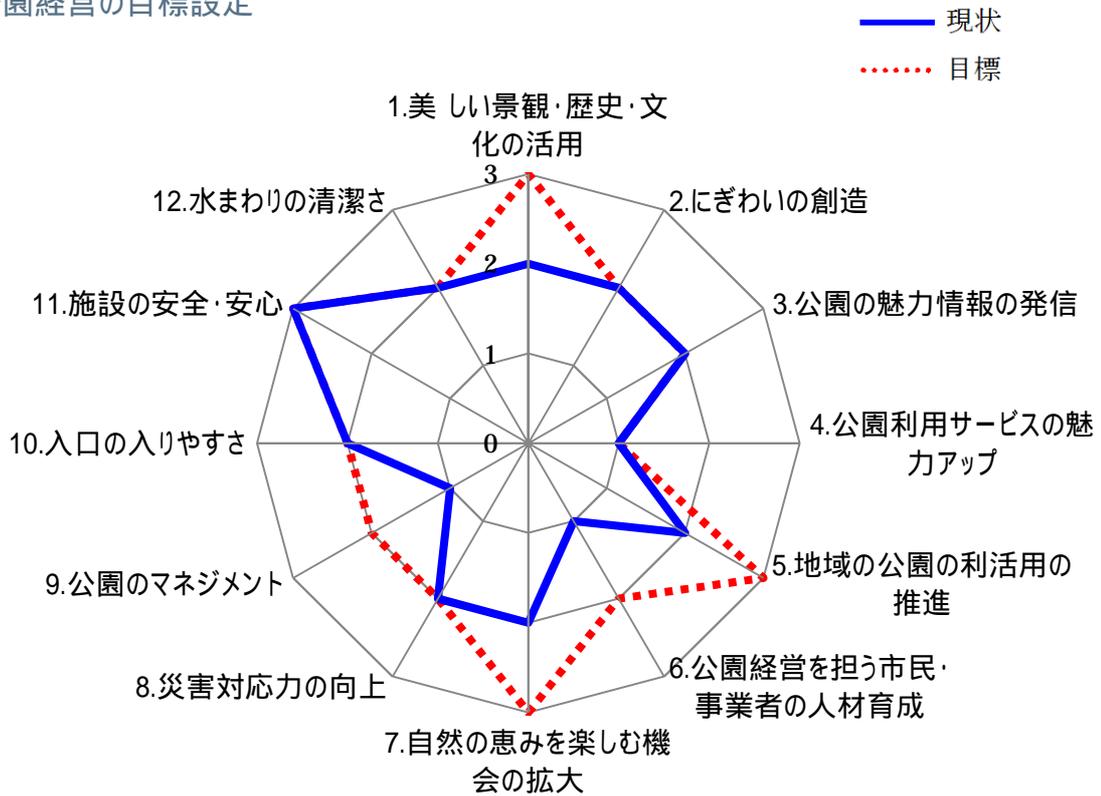
- ・ 地域のシンボルとして、地域コミュニティの中心となる公園
- ・ 様々な年代の人が、遊びや健康づくりなどを通じて、色々な活用ができる公園
- ・ 地域との協働・連携で、景観・環境の改善・向上を目指す公園

(2)細口池公園のイメージ



2-2.取り組みの方針

(1)公園経営の目標設定

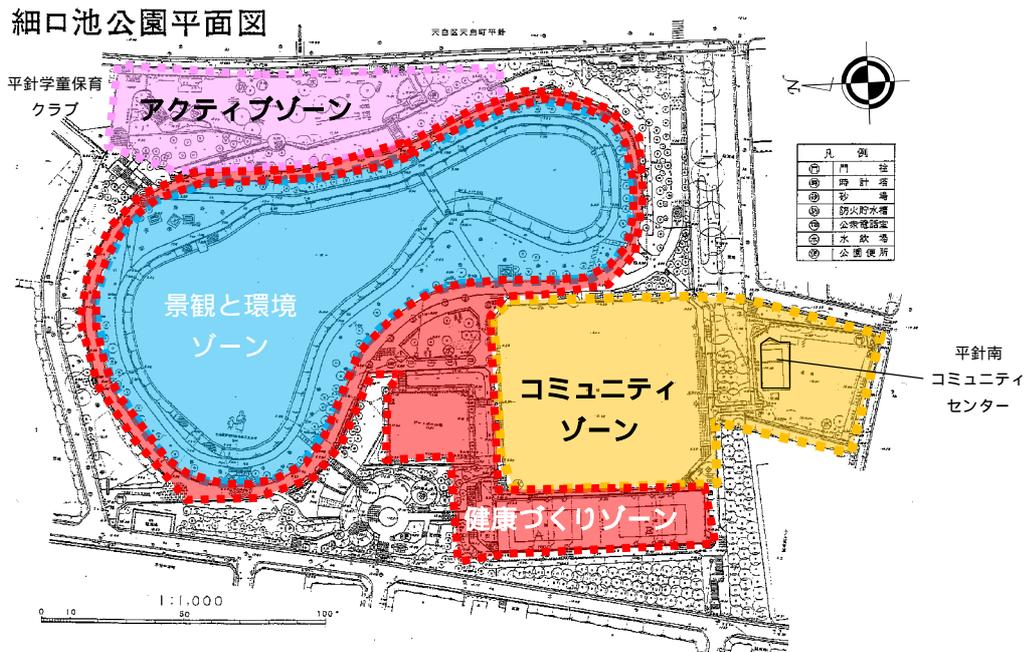


めざす公園像に取り組むための方針に沿って公園経営の目標を設定し、今後 10 年間に重点的に取り組む項目は、下表のとおりである。

めざす公園像のための取り組み項目	景観形成		運営管理				連携協働			維持管理		
	1	10	2	3	7	9	4	5	6	8	11	12
地域のシンボルとして、地域コミュニティの中心となる公園												
様々な年代の人が、遊びや健康づくりなどを通じて、色々な活用ができる公園												
地域との協働・連携で、景観・環境の改善・向上を目指す公園												

(2)ゾーン別特性

管理運営や改修整備等を重点的・効率的に実施していくために、現況を踏まえ、機能・目的・自然的環境等により類型化したゾーン別特性は、以下のとおりである。



ゾーン区分図

【アクティブゾーン】

公園東側にある区域で、遊具広場(東)を中心としたエリアである。学童保育所が隣接していることから、地元の小学生など子供の利用者が多く、今後も子供の遊びの場として活用できるエリアとする。

【健康づくりゾーン】

ゲートボール場を中心にテニスコート・周遊園路をまとめたエリアである。池周辺の周遊園路には、日常的に地域住民がウォーキングする姿が見られ、健康づくりの場となっているほか、テニスコートは利用者数が増えており、週末は高い利用率となっている。そのことから地域の健康づくりの場として活用できるエリアとする。

【景観と環境ゾーン】

池を中心とするエリアで見通しがよく、春には桜が綺麗で地域住民の評価も高い場所である。また地域が中心となって池の環境改善を行い、生物多様性の保全を行っている。

このエリアは公園のシンボリックエリアであり、地域との協働の場であるため、今後も景観の維持に努め、環境を通じた地域コミュニティの向上を図るエリアとする。

【コミュニティゾーン】

公園南側にある平針南コミュニティセンターと、その北側に位置する広場を含めた区域であり、地域主催のイベントを行う会場＝交流の場として利用されている。今後も地域のコミュニティを形成し、活用されるエリアとする。

(3)維持管理の方針

園地や植物の管理については、現況の植栽を生かし、各植物の特性に配慮したうえで、より質の高い維持水準を保てるよう必要な管理を行う。

施設や設備は、利用者が快適かつ安全に利用できるよう、各種施設の位置、機能、特性を十分に把握したうえで、常に清潔に保ち、機能を正常に保持するため、各施設に応じた管理計画を立て、点検・管理を行う。また、寄附事業（なごやかベンチ・まごころ遊具）を活用し、施設の更新・充実を図る。

地域住民との連携や、企業等とのパートナーシップを推進し、参加型で効率的な維持管理を目指す。

(4)景観形成の方針

細口池公園は、サクラなどの季節の花々の咲く緑豊かな園地や細口池などが、細口池公園の景観を形成する重要な要素となっており、これらの美しい景観を維持するため既存の植物や施設の特長を生かした管理を行う。また、寄附事業（スポンサー花壇）の導入や市民協働による景観向上にも努める。

また、各入口を明るく清潔に保ち、来園者が安心して公園を利用できるよう管理を行う。

(5)運営管理の方針

利用者の満足度を高め、多様なニーズに応えるため、利用者の声を参考にし、反映できるものは積極的に取り入れる。

細口池公園の特長である、地域との結びつきを生かし、地域や学校等との連携・情報交換を進め、積極的に情報を発信するなど、公園利用の促進を目指す。

(6) 連携・協働の方針

地域住民や市民団体など関係団体等との連携を進め、地域に根ざした公園を目指す。

現在、細口池公園で活動している愛護会や活動承認団体などのボランティア団体のほか、新たな団体、市民等との連携・協働の継続・充実を図る。特に、細口池の環境改善について、生物多様性の保全に配慮した管理を目指す。

また、公園やコミュニティセンターなどを連携・協働の活動拠点にするとともに、ボランティアや市民のコミュニティの場（地域のオアシス）として活用する。

(7) 改修・再整備の方針

公園の安全・魅力向上のために必要な場合は、改修・再整備を行う。主に、舗装や施設の更新を進めるとともに、高齢者や子供連れの利用者も多いことからバリアフリー対策にも努める。

(8) 災害対応の方針

「名古屋市地域防災計画」に基づき、一時避難場所としての機能を確保する。

また、災害時に一時避難場所としての機能を発揮できるよう、管理を行う。